今、変わる！
流山市議会

流山市議会だより

第156号
平成28年８月15日

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1−1−1　議会事務局内
電話04-7150-6099（直通）FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyamagikai.jp

市議会だよりは２月、５月、８月、11月の年４回発行です。　ホームページアドレス http://www.nagareyamagikai.jp/

写真コンクール入賞作品、高市　勇さん撮影の「宮司一家の晴れ舞台」（撮影場所：駒木、諏訪神社）

撮影の背景　このポーズを撮りたくて、シャッターを切る。静けさが漂って来ます。この神幸祭が終わると、氏子若者たちが神輿を担いで、御旅所（おたびしょ）へ。

名誉市民条例など22件可決

第12回議会報告会を開催（2面参照）

第2回定例会概要

６月２日の開会日には、市長から、「平成28年度流山市一般会計補正予算（第１号）」を含む合計12件の議案が提出され、提案理由の説明が行われました。また、そのほか９件の報告がありました。**（要旨７・８面）**

市政に関する一般質問は、６月７日から10日までの４日間にわたり、21人の議員が登壇し行われました。**（要旨３～６面）**

６月10日の一般質問終了後には、各常任委員会に議案・陳情が付託されました。各常任委員会は、６月13日から16日までの４日間にわたり開催されました。**（要旨７面）**

６月22日の最終日には、各常任委員会の委員長報告の後、質疑、討論、採決が行われました。

また、市長から、「人権擁護委員の推薦について」を含む合計３件の議案が追加提出され、提案理由の説明の後、採決が行われました。

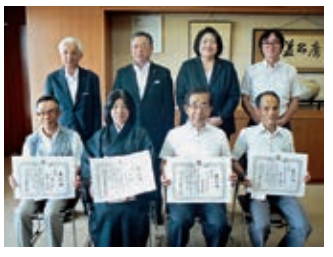
議員からは、合計９件の発議が提出され、提案理由の説明の後、質疑、討論、採決が行われました。**（要旨６・８面）**

写真コンクール入賞者決定

市議会では、今年で15回目となる写真コンクールを開催しました。17名の方から合計40点の作品応募をいただき、誠にありがとうございました。厳正な審査の結果、次の４点が入賞されました。

入賞作品を、今号から来年５月15日号までの４回にわたり、順次掲載する予定です。

入賞者氏名（敬称略）「題名」
高市　勇「宮司一家の晴れ舞台」
池田　博「一茶の見た冬富士」
山本　啓子「群遊」
山本　一夫「親子の絆」


［写真前列右から］

第13回議会報告会を開催します

市内４会場で開催します。
皆さまのご参加をお待ちしています。

11月12日（土）
教育福祉委員会
9:30～11:30　南流山センター
市民経済委員会
14:00～16:00　駒木台福祉会館

11月13日（日）
総務委員会
9:30～11:30　森の図書館
都市建設委員会
14:00～16:00　生涯学習センター

詳細は『広報ながれやま』10月１日号をご覧ください。

クローズアップ

市民の目線に立ち、「見たくなる議会」を目指します
議会広報広聴特別委員会

議会広報広聴特別委員会が取り組んでいる活動をご紹介します。本特別委員会の所管事項は、『流山市議会だより』の編集および発行、議会報告会の実施、市議会ホームページの充実に関すること、フェイスブックやツイッターの運営などです。

『流山市議会だより』については、８面の「議員別表決結果」を見やすくするための表組み変更を検討中で、市民の皆さまの「生の声」をお聞きするため、新デザイン案への意見募集を開始しました。（詳細は８面および市議会ホームページをご覧ください。）

１面では特に注目して頂きたいことを「クローズアップ」として掲載しています。

また、議案や請願・陳情などの内容を詳細に審査する常任委員会での議論も、より詳しくお伝えしようと、掲載スペースを拡充しました。

市議会ホームページでは、議会の新しい取り組みなどが目に付きやすいようにトップページに新着記事として掲載しています。

市民の皆さまへの報告や意見交換を行う大切な機会である議会報告会については、より多くの市民の皆さまに関心を持って頂き、来場して頂けるように、全般的な見直しが進行中です。

議会広報広聴特別委員会では、これからも市民の皆さまの目線に立って「見たくなる議会」を目指し、皆さまとの活き活きとしたコミュニケーションを求めて、具体的な改革に取り組んでまいります。意見募集へのご協力、その他の要望などをお寄せ頂けるようお願いいたします。

第12回議会報告会を開催

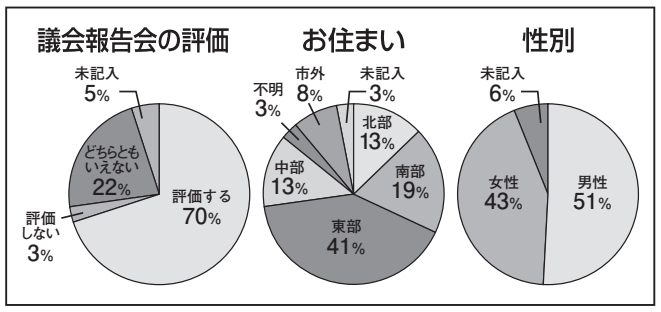
平成28年5月14日(土)、15日(日)の両日、第12回議会報告会を開催しました。今回は、両日併せ57名の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回の議会報告会は、常任委員会ごとの班分けとなり、各班が事前に定めたテーマについてそれぞれ報告し、報告後はご参加いただいた皆さまとの意見交換を行いました。

この議会報告会でいただいた多くのご意見は、今後の議会活動の中で貴重な資料として生かしてまいります。

今後ともより多くの皆さまに議会報告会に参加していただけるよう工夫してまいります。

（※ホームページにおいて各班より提出された報告書・参加者アンケートの詳細が全て閲覧できます。）



1班 総務委員会（南流山センター）

【参加人数】 11人
【会場】 南流山センター
【テーマ】
・南部地域を中心とした諸課題について

【主な意見とその回答】

Q. 企業誘致は昼間人口を増す政策が必要です。

A. 南部地域は企業誘致、自然利用などで可能性がある地域なので、今後の課題として検討をします。

Q. 道路の段差解消に計画段階から取り組むなど、障がい者などに優しいまちづくりを求めます。

A. 障害者差別解消法が制定されており、議会からも具体策を求めます。

Q. 横断歩道の整備が遅れています。ごみステーションの設置を5区画以上販売する業者以外にも指導して下さい。

A. 横断歩道は課題と受けとめ解決を目指します。ごみステーションは広い道路には設置できないわけではなく、行政への働きかけを行います。

Q. キッコーマンアリーナの費用対効果の議会でのチェック、また利用者への公平な対応、料金の適正な設定を求めます。

A. 費用対効果はチェックしていきます。利用料はコートの分割利用を可能にするなどの提案もしました。公平な対応も含め今後も行政と管理者に働きかけていきます。

Q. 地域支え合い活動推進条例は災害弱者対策を重視して下さい。

A. 条例制定がゴールではなく適宜改正することを確認しています。災害対策基本法に沿ったものとするべく取り組みます。

2班 教育福祉委員会（おおたかの森センター）

【参加人数】 21人
【会場】 おおたかの森センター
【テーマ】
・流山の子育て環境に関する課題提起

【主な意見とその回答】

Q. 発達障がいについて特別支援の連携協議会を7年間実施していますが、このような意見交換につながったことがありません。専門家に耳を傾ける意識はありませんか。

A. 是非伺いたいです。議員になって子育ての悩みを抱えている多くの方にお問い合わせいただくようになり、専門家にアドバイスを頂きたいと思っていました。

A. 個々には、様々な機会で勉強し、つばさ学園など、様々な障がい者支援施設にも視察に行き、環境の確認をしていますが、地元の第一線を担っている方の意見は聞いていなかったのは反省点です。今後はご意見を伺って勉強して政策提案もしたいので、是非ご協力をお願いします。

A. 発達障がいをテーマとして取り上げた経験はありますが、皆さまに伝わっていなかったのは努力不足です。関西では発達障がいで補助教員を付けることに国の補助金を使いますが、関東では英語教員を増強するなど学力向上を目的として予算を使う傾向が強いです。関西は発達障がいに対し様々なセンターが作られ、補助教員も潤沢ですが関東においても国からの予算を学力増強以外にも使っていく必要があります。

3班 市民経済委員会（東部公民館）

【参加人数】 17人
【会場】 東部公民館
【テーマ】
・農業振興資金融資制度の制定について
・各議員の一般質問から

【主な意見とその回答】

Q. 農業振興資金融資制度利子補給について、利用者にとっては実質金利ゼロと考えて良いですか。

A. その通りです。

Q. 定年を迎えてから地域の活動に参加するのではなく、小中学生の頃から地域の活動に参加できるような働きかけが重要ではありませんか。

A. 小中学生は流山市内で生活することがほとんどで、高校生、大学生、社会人と年齢を重ねるにつれて市外で生活する時間が増えてくるため、小中学生から地域の活動に参加できるような働きかけは重要と考えています。

Q. 環境対策のような全市に関わる案件については、会派の枠にこだわらず勉強会などをやると良いのではありませんか。

A. 委員会として視察や、講師を招いての勉強会を実施しています。

Q. 流山市よりも北千住の方が、保育士の賃金が月額10万円ほど高いです。流山市も保育士の賃金を上げてはどうですか。

A. 国でルールが決まっており、市独自での変更は難しいです。現在、住居の提供や、学費の貸付などで対策しています。

Q. 議場で傍聴者から議員の顔が見えるように配置を変えてほしいです。

A. 現状の議場の構造上、非常に難しいです。

4班 都市建設委員会（東深井福祉会館）

【参加人数】 8人
【会場】 東深井福祉会館
【テーマ】
・交通安全について
・消防・防災について

【主な意見とその回答】

Q. 東深井地区、特に流山街道で右折レーンのない東深井交差点、運河交番近くの感応式駒形神社前交差点および運河水辺公園の側道など問題ある交通安全対策について調査・検討されていますか。

A. 昔から運河橋の周辺は混雑しましたが、有料道路の無料化以降、周辺・東深井交差点などの交通状況に変化が出ています。第三物流センターの完成予定の平成31年を目途に、周辺地域の方の知恵をお借りして再構築するのが良いと思います。

Q. 大正12年に関東大震災がありましたが、市として当時の状況をつかんでいますか。震災が来るという事を前提に、議員として議会として具体的な行動を望みます。

A. 流山市全域を考えるのが議員の任務でしょう。自主的に司令塔になりなさいと言う激励・要望として受け取ります。

Q. 防災備蓄の件、例えば東深井福祉会館には何が備蓄されていますか。

A. 手持ち資料がありませんので、東深井福祉会館をはじめ市内小中学校の備蓄倉庫にある備蓄品の詳細については市のホームページでご確認ください。（参考）東深井福祉会館には備蓄なし。詳細は、市のホームページ→くらしの情報→防災→備蓄→流山市防災備蓄品一覧表。

市政に関する一般質問

平成28年第2回定例会の一般質問には、21人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。

各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。

「魅力ある流山市」を表現する商材の開発について

自由民主党　中村　彰男

問　流山市への観光や帰省、あるいは在住の方々がお土産などに用いる従来の名産品に加え、新たな特徴のある物産などを開発し、振興を図る考えはあるのかを伺います。

答　**経済振興部長**　地域振興や地域経済の活性化のために、地域資源を生かした名産品づくりは全国で取り組まれており、本市においても必要であると考えています。

流山市ならではの逸品となる商品の開発は、民間事業者による独自の技術力や専門知識を踏まえての自由な発想が重要であり、さらに農商工業者との連携を取りながら地域ブランドとなる商品を開発し、マッチングなど後押しをしていきたいと考えています。

現在あるものを磨き上げること、ブランド化して商品を全国にPRしていくこと、そして市民の皆さまに誇りや自信を持ってその商品をご利用いただけることを目指し、魅力あるお土産、名産品となる商品をつくり上げ、地域外の人やお金を呼び込みたいと考えています。

シティホテルの誘致について

新風流山　森田　洋一

問　現在流山おおたかの森駅前市有地にシティホテル建設誘致が計画されている。どんな顧客層を利用者として想定しているのか。旅行代理店への働きかけを市から事業者に提案すべきでは。地元雇用とホテル建設の効果をどう考えているのか。

答　**市長**　どのような顧客を想定しているかについては、観光利用、大学の研究者ほかビジネス利用、アジア諸国を中心とする団体利用、周辺施設との連携利用。また、バンケットで式典やセミナー、会議、宴会などの利用が想定されます。雇用については、ホテルスタッフ、併設するカフェ、建物の清掃や設備の点検などの業務に係る雇用が見込まれます。効果は、市内唯一のホテルとなり、産業振興、市内経済の活性化を期待しています。

ホームページにおける地図の活用

流政会　野田　宏規

問　各部署で所管する地理情報を重ね合わせた統合型※GISを導入した上で、ホームページでその情報の一部を提供してはどうですか。これからの時代、地図の活用は重要です。GISの統合へ向けた現状と、その先の市民利用の展望を伺います。

答　**総合政策部長**　個別に導入し、業務に利用しているGISの利用をさらに拡大させるため、相互連携できる統合型GISへ再構築し、そのデータをオープンデータとして市民の皆さまに公開し提供するシステムは不可欠であると考えています。

平成27年度に庁内プロジェクトチームを設置し、GIS統合について研究され、まず基盤システムの統一という提案がありました。その提案を踏まえ、段階的に統合していく予定で、現在システム構築などの経費の積算を行っています。

市民利用が増すような、GISを目指したいと思っています。GISのスタート時期は平成29年4月を目指して今調査研究をしているところです。

一般質問通告一覧

1	中村　彰男	1	（仮称）三郷流山橋完成後における市民生活への影響・ビジョンについて	11	斉藤　真理	1	防災対策について
		2	将来の市民人口の推移と政策展開について			2	つくばエクスプレス沿線の街づくりについて
		3	文化・伝統の継承について	12	秋間　髙義	1	読書活動の推進について
		4	「魅力ある流山市」を表現する商材の開発について			2	教育行政について
2	森田　洋一	1	シティホテルの誘致について問う			3	防災対策について
		2	フィルムコミッションの展開と効果検証について問う			4	市民サービスの充実について
		3	観光施策の推進について問う			5	名都借跨線橋道路拡幅事業について
		4	上下水道事業の諸課題について問う	13	戸辺　滋	1	北部地域の街づくりについて
3	野田　宏規	1	市のホームページについて			2	各種納付方法について
		2	外国人誘致促進について	14	楠山　栄子	1	食育推進施策について
4	坂巻　儀一	1	北部地域の交通安全対策について			2	地域公共交通施策について
		2	本市の災害対策について	15	森　亮二	1	市内の総合交通体系について
5	加藤　啓子	1	流山市の学童保育の課題について			2	地域主権改革について
		2	流山市の運動会種目の決定について			3	開発行為に係る課題について
		3	入学準備金貸付制度について	16	徳増記代子	1	保育行政について
6	笠原　久恵	1	市役所職員のメンタルヘルス対策について			2	住宅問題について
		2	流山市の介護保険事業者による介護従事者の人材確保対策について			3	八木南地区コミュニティ・ホームについて
		3	外国人旅行者による市内の宿泊について	17	植田　和子	1	流山市防災計画について
7	野村　誠	1	本市の防災対策について			2	高齢者の「働きたい」という要望に応えた施策について
		2	ＪＲ南流山駅を起点としたぐりーんバス路線の開設について	18	乾　紳一郎	1	市長の政治姿勢を問う
8	西尾　段	1	本市における寄付の募集について			2	震災対策について
		2	市内公立小中学校の運動会における組体操の実施について			3	介護問題について
9	藤井　俊行	1	流山市民まつり開催時における、江戸川台駅からの臨時送迎バスの運行について	19	阿部　治正	1	ＬＧＢＴなどの性的少数者への対応と施策について
		2	子どもの発達にかかわる諸課題について			2	流山の消防職場で起きた暴行・虐待事件等について
		3	防災対策について	20	石原　修治	1	おおたかの森小中学校の開校1年から見えた諸課題について
10	近藤　美保	1	街の人材育成の源である地域子育て支援事業について			2	防災対策と危機管理について
		2	子どもが急増している流山市において必要な学童保育の量と質の確保策について			3	大堀川1号雨水幹線整備事業について
				21	小田桐　仙	1	消防署内におけるパワーハラスメントについて副市長に問う
						2	震災対策について
						3	つくばエクスプレス及び沿線巨大開発について
						4	教育行政について

用語解説　ＧＩＳ…さまざまな地理データを衛星やコンピュータなどを利用して収集・分析・処理し、地図情報とその他の情報を統合的に活用するシステム

本市の災害対策について

流政会　坂巻　儀一

問 **東日本大震災後に本市が行ったように、この度の熊本地震の教訓を生かし、自主防災組織としての各自治会の取り組み方などを含む本市の地域防災計画全体の検証や見直しについて、当局はどのように考えていますか。**

答 **市民生活部長**　地域防災計画は熊本地震の教訓を生かし、新たな課題については総合的に検討して、できることから反映していきます。

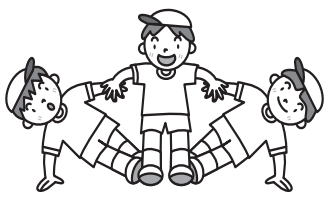
　自主防災組織の活動については、組織ごとの活動も重要ですが、近接自治会との連携も重要であると考えます。特に避難所を同じくする自治会同士の連携は、避難所の運営をスムーズに行うためにも必要不可欠で、地域ではそうした自治会同士での防災訓練が行われている事例もあります。

　現在小学校の避難所については、その学区内にある自治会、自主防災会の連携により避難所運営マニュアルの作成が行われていますが、この作成に当たって市は支援を引き続き行っていきたいと考えています。

組体操中止の決定経緯について

自由民主党　加藤　啓子

問 **組体操全面廃止が教育委員会より先にマスコミに流れた。幼児教育支援センター附属幼稚園でも組体操に取り組んできたが、相談なく決定された。教育とは児童と共に安全な方法を考えていくことであり、決定経緯に問題はなかったのか。**



答 **教育長**　流山市は組体操全面廃止という報道がされていましたが、教育委員会が全面廃止を決定したわけではなく、子どもたちの安全確保を優先に考えた結果、市内全ての校長の判断により、次年度の組体操実施を取りやめたということです。

　それを聞き及んで報道され、これが前後した最大の原因だと思います。

　幼児教育支援センター附属幼稚園の運動会については、さまざまな方の御協力をいただき、努力したのは重々認識していますら、そこは話し合いではなくてやめるべきであると私は思います。それが教育だと私は思います。

外国人旅行者による市内の宿泊について

流政会　笠原　久恵

問 **外国人旅行者によるごみの分別や騒音問題が発生している現状を把握していますか。今後、外国人旅行者の増加も予想され、民泊の提供者も増えると考えられますが、地域コミュニティとの連携を含めどのように対応していきますか。**

答 **経済振興部長**　市内における外国人旅行者の宿泊状況については把握していませんが、今回の件については、環境部クリーンセンターに情報提供があり、同センター職員が直接現地を訪問し、そうした姿勢は大切で一考することは各学校も同じ状況です。

　これは危険だと言ったことは話し合いではなくてやめるべきであると私は思います。それが教育だと私は思います。

　人が住んでいる気配がないことから民泊施設の管轄である千葉県の健康福祉部衛生指導課に居住実態がない旨の報告を行ったと聞き及んでいます。

　民泊による外国人旅行者と地域のコミュニティの連携については、民泊施設の提供者や管理者が指導すべきであると考えています。

　今後短期宿泊する外国人旅行者によるトラブルが発生した場合も、所管である県に通報することで対応させていただきます。

本市の防災対策について

公明党　野村　誠

問 **福祉避難所の運営マニュアルは現在策定していないと仄聞（そくぶん）していますが、福祉避難所における要援護者の安心・安全を確保するためにも福祉避難所運営マニュアルを策定すべきと思いますがどうですか。**

答 **健康福祉部長**　福祉避難所運営マニュアルについては、各小学校単位で設置している避難所運営マニュアルの整備に併せて準備が必要であると認識しています。

　ただし、各小学校避難所の名簿掲載者への配慮や各小学校避難所から福祉避難所への移動手段の確保、施設利用者や地域支え合い活動推進条例の名簿掲載者以外の、例えば発達障がい者などの受け入れも検討する必要があると考えています。

　福祉避難所運営マニュアルの策定は、担当部門と施設管理者および実際に福祉避難所を利用する災害弱者やその家族からの意見聴取が不可欠です。

　今後は、これらの課題を踏まえ情報収集を行い、支援体制を整えたいと考えています。

野球場整備など、使用目的を絞って寄付を募ろう

新風流山　西尾　段

問 **「使い道が明確」、「寄付の方法が簡便」な場合に寄付が集まりやすいと言うデータがある。他市では野球場など、施設別に区分している例もある。流山市でも使用目的別に寄付を募ってはどうか。また、クレジットカードに対応してはどうか。**

答 **生涯学習部長**　４月にオープンしたキッコーマンアリーナは、整備充実という使用目的で寄付をいただき、各種備品の購入などに活用した実績があります。ご提案の使用目的を限定した寄付口座を開設することで市民の方々の厚意により野球場整備などの具体的な施設整備の一助になるのであれば、今後キッコーマンアリーナの寄付金と同様に寄付金受け入れの手続を進めます。

財政部長　熊本地震における被災地へのふるさと納税を活用した寄付について、インターネットを活用したクレジットカードでの寄付が大変有効との報道もあり、来年４月からの導入を目指し、現在準備を進めています。

北部地区からも市民まつりに行きたい！

新風流山　藤井　俊行

問 **南部地区の南流山、中部地区の流山おおたかの森、東部地区の南柏からは乗り換えなしで市民まつりに行くことができる。ＴＸ沿線整備前は北部地区をけん引していた、江戸川台地区からも乗り換えなしで行けるようにするべきではないか。**

答 **市民生活部長**　臨時送迎バスの江戸川台駅からの運行は、ＴＸ、ぐりーんバスなどの公共交通機関を利用し来場が可能であることから、市民まつり実行委員会へ提案することは考えていません。

市長　流山セントラルパーク駅から江戸川台駅まで約４・５キロで鋭角ですが、ほぼ一直線です。流山セントラルパーク駅から南柏方面、松ケ丘方面は約３・５キロですが、実際に鉄道で来る場合には５キロ以上になり、迂回をしてくることになります。地図を確認していただければ、東部地域にバスを求められる声が大きいのは納得がいかれると思いますし、江戸川台の方から声が大きくならないということもよく理解されると思います。

地域子育て支援事業について

流政会　近藤　美保

問 **初めての出産は、人が育てられる側から育てる側となる激変期です。適切な支援を行政が行う事で地域とつながりが生まれ、街の活性化にも貢献します。地域子育て支援センターの役割や評価、改善されない事業の再整理はあるかを伺います。**

答 **子ども家庭部長**　昨年度当初事業計画および指導計画、今年度初め報告書と自己評価をいただいています。自己評価は活動の狙いの達成度や事業の実施結果および反省点、次年度目標などを上げていただきました。年度当初に立てた狙いは概ね達成できたというのが現状の評価です。それぞれの地域子育て支援センターが役割を認識し、子育て支援に取り組んでいると評価しています。年１回程度は各地域子育て支援センターを回り、自己評価などに基づく事業実施をチェックし、よりよいサービスの提供に取り組みたいと考えます。

　指導が功を奏さず、ほかとの落差が激しいような場合は、最終的に事業の撤退は選択として当然と考えています。

つくばエクスプレス沿線の街づくりについて

公明党　斉藤　真理

問 **流山おおたかの森駅北口市有地に建設予定のホールについては、可動席を導入した多目的ホールとなるが、音響的なクオリティーは保たれるのか、また、キッコーマンアリーナのように、ネーミングライツを導入する考えはあるか問う。**

答 **市長**　多目的ホールは、形状を水平方向の反射音を考慮し、四角いシューボックス型を採用するほか、内壁や天井も音響感の得られる素材や形状とし、イベント内容により残響時間を調整できるなど、一部可動席ではあるものの、本市初となるコンサートホールクラスの音響が期待されるホールです。

※残響可変カーテンなし

学校図書館司書の配置をすべき

公明党　秋間　髙義

問 学校図書館司書の各学校への配置は、子どもたちが夢と希望を持って、人生をより深く、生きる力を身につけていく上で必要不可欠です。そこで、今年度における学校図書館司書の配置については、どのように検討されたのかお答えください。

答 **教育長**　今年度から学校図書館司書の配置を開始しました。今年度はモデル校として、司書資格を持つ学校図書館司書１名を西初石小学校、西初石中学校に配置し、週５時間、毎週１日の勤務となっています。現在の勤務内容としては、学校図書館のオリエンテーションをはじめ、図書の選書、調べ学習、読書会、教員や児童生徒へのレファレンスサービスなどの※支援を行っています。今後は、このモデル校での取り組み内容やその効果を検証し、児童生徒の図書館教育の充実に向け、配置の拡大を検討したいと考えています。

市税および保険料の納付方法について

公明党　戸辺　滋

問 固定資産税などの税納付、国民健康保険などの保険料納付は、金融機関などで納付する方法と口座から自動引落としする方法のいずれかとなっています。市民サービス向上のため、クレジットカードによる納付も検討すべきと考えますがどうですか。

答 **市長**　国も平成26年度に検討した結果、クレジットカード納付の導入は行わないとしていました。しかし、平成28年度税制改正で、平成29年１月４日施行でクレジットカード納付を可能とする制度が創設されることとなりました。今後地方公共団体も地方税のクレジットカード納付は広がることが予想され、環境が変わってきています。市も市税およびふるさと納税に関するクレジットカード納付の導入の検討を進め、今年度中に補正予算で予算措置をお願いし、来年４月からの導入を目指したいと考えています。

　市税以外の料金のクレジットカード納付は、市税のクレジットカードの納付状況を踏まえ、今後検討したいと思います。

バス交通施策について

新風流山　楠山　栄子

問 柏市と当市は10年前の調査に基づく交通施策をとっているが、国の法律改正を受けて、柏市は現在見直しを行っています。当市も見直すべきではありませんか。ぐりーんバスの予算枠は五千万円ですが、需要調査の結果次第では拡大しますか。

答 **都市計画部長**　路線開設できないという判断をもとに今調査を進めているのではありません。必要に応じて今後予算要求したいと考えます。

市長　流山市の場合は、ＴＸが開通するということを念頭に検討し、10年前から微調整をしながら進めています。鉄道の骨格も変わっていません。都市の形成は、その当時に念頭に置いた姿になりつつあるということで予想外のことが起こっているわけではありません。今のところ同じような調査を、あるいは協議会を立ち上げて、もう一度練ることは考えていません。

ＴＸ東京駅延伸の可能性は

流政会　森　亮二

問 国土交通省交通政策審議会の答申が平成28年４月に発表され、「ＴＸの東京駅延伸」が明記された。当局は答申をどのように受け止めているか。答申に基づく具体的な取り組みおよび財政負担などの試算の実施について、当局の見解を問う。

答 **市長**　各機関に対し、沿線自治体とともに要望活動を継続してきたことが一つの成果として表れたものと認識しています。しかし、今回の答申は路線整備の主体は国ではないと示していることから、沿線自治体や鉄道事業者が一体となって実現に向けた検討を行う必要があると考えています。

　答申の公表後すぐに沿線７市の担当課会議を開催し、東京駅延伸に向けて行うべき調査などについて協議しました。

　事業費や整備主体、採算性についての詳細は答申に記載されていませんが、鉄道輸送需要推計の詳細は後日公表するとされているので、公表された段階で沿線自治体とともに内容の精査を行う予定です。

「待機児」なくすため、公立保育所の充実増設を

日本共産党　徳増　記代子

問 認可保育所に入れない子どもが続出、本市も４月時点で４６９人が入所できませんでした。ところが５月24日に実態調査をした結果、公立保育所は75人もの空きがあり、こここそ充実、増設し、保育士の待遇改善をすべきではありませんか。

答 **子ども家庭部長**　保育士確保の取り組みとして、流山市保育士修学資金の貸付けに関する条例の制定や、保育士有資格者への潜在保育士研修の実施、さらに今年度から保育所整備のためには、国の補助金が活用でき、質の高い保育内容と保育環境を提供できる民間の認可保育所を優先して整備したいと考えています。用が見込まれています。今後も国の動向を注視しながら研究していきたいと考えています。

　６月１日現在、市内５か所の公立保育所定員数６６０名に対し、入所者数は５８７名です。

　公立保育所は、経営的視点からは採算性が低いと思われる分野に比重を置くことが重要と考えます。定員を増員する保育所整備のためには、国の補助金が活用でき、質の高い保育内容と保育環境を提供できる民間の認可保育所を優先して整備したいと考えています。

納税等状況報告

流山市議会議員政治倫理条例第５条第２項の規定に基づき、納税等状況の要旨を公表します。（平成28年5月31日現在）

議員名	市民税／県民税	軽自動車税	都市計画税／固定資産税	保険料／国民健康保険料	介護保険料	水道料金	下水道料金
菅野　浩考	○	－	○	○	－	○	○
植田　和子	○	○	－	○	－	○	○
笠原　久恵	○	－	－	－	－	－	－
加藤　啓子	○	○	○	－	－	－	－
斉藤　真理	○	－	○	－	－	－	－
中村　彰男	○	－	○	－	－	○	○
楠山　栄子	○	－	－	○	○	－	－
西川　誠之	○	－	○	○	○	○	－
森　亮二	○	－	－	－	－	－	－
徳増　記代子	○	○	－	－	－	○	○
藤井　俊行	○	－	○	○	－	○	○
中川　弘	○	○	○	－	－	○	○
根本　守	○	－	－	○	○	○	○
小田桐　仙	○	○	○	○	－	○	○
青野　直	○	－	○	○	○	○	○
乾　紳一郎	○	○	－	○	－	○	○
秋間　髙義	○	－	○	○	－	○	○
海老原　功一	○	－	○	○	－	○	－

≪対象者≫
前年1年間を通じて議員であった者（28人中18人）

≪表示例≫
○…当該年度に納付すべき額が、すべて納付されている場合（市・県民税の項目は、非課税を含む）
△…当該年度に納付すべき額の一部が、納付されている場合
×…当該年度に納付すべき額が、まったく納付されていない場合
－…納税等状況報告の対象外

(注1)
介護保険料は、介護保険法第129条第2項に基づき、65歳以上の方を報告対象とした。なお、40歳以上65歳未満の医療保険加入者が納めている介護保険料については、各医療保険料に含まれるため、報告対象外とした。
(注2)
議員本人に納入義務がないものは、報告対象外とした。

用語解説

残響可変カーテン…「残響」とは、室内で音源が振動をやめた後も、壁や天井などの反射によって引き続き音が聞こえる現象で、この残響時間を調節することができるカーテンのこと

レファレンスサービス…情報や資料などを求めている図書館利用者に対し、図書館員が情報や資料を検索、提供することによって援助する業務

女性の視点を加えた防災計画の見直しを

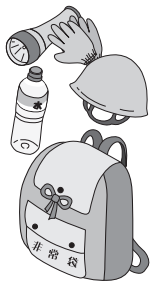
日本共産党 植田 和子

問 **避難所では女性を狙った性犯罪が増加します。東日本大震災でも十分に目を向けられなかったのは、女性が避難所で抱えるストレスの問題でした。女性の視点から、女性ならではの意見要望を反映させた防災計画の見直しを求めますがどうですか。**

答 **市民生活部長** 現在、計画策定主体となる防災会議の委員に女性が5名任命されており、ご意見を反映してまいります。

また、平成24年度の地域防災計画の修正では、東日本大震災の教訓を得て、次のような対策を取り入れたところです。

１点目、自主防災組織などに女性の登用推進を働きかけること。2点目、女性に配慮した生活必需品の備蓄、相談窓口の設置など。３点目、避難所では男女別の更衣室、トイレ、授乳室、女性による生理用品、下着の配布など、女性や子育てのニーズに配慮したものです。これからの防災行政においても引き続き女性や災害弱者に配慮した視点を持ち続けることが大切であると考えています。



年金で安心して入れる特養ホームの建設を！

日本共産党 乾 紳一郎

問 **市が整備してきた特養ホームは個室で利用料が高く、ケアマネージャーが特養入所をすすめても、申し込みすら出来ない例が多い。年金で安心して入れる多床室のある従来型特養を望む声が多いが、今後の整備方針をどうするのか。**

答 **健康福祉部長** 特養ホームの入所については、費用の問題から多床室を希望する方もいることから、次回の整備においてはユニット型個室と多床室併設型の特養ホームを検討します。待機者が施設の空きができて声かけをしても入所しないケースの理由として聞いているのは、将来のために申し込みはしているが現在は入所の必要がない、病院に入院中のため入所できないなど、このような事情です。

収入のそれほどない高齢者世帯に対しては、特養ホームに入居するのは難しい料金体系になっているのも事実だと思っています。本市としては一人でも多くの方がきちんとサービスを提供できる施設で対応できるような社会づくりを目指していきたいと考えています。

LGBTへの誤解と偏見の解消策を！

阿部 治正

問 **性同一性障害などLGBTは人口の7・6％と言われる。誤解や偏見が根強く、行政もそれを免れておらず、LGBT※の生きづらさを助長している。当事者から強く求められてきた教育の場での偏見解消策などはどのように行われているか。**

答 **学校教育部長** LGBTの児童生徒の実態や相談体制、対応のあり方などについて、研修の機会を通して内容を正しく理解するとともに、相談しやすい環境をつくっていくことが極めて大切だと考えています。

現在、LGBTに関する研修は人権教育の一環として進めており、昨年度は管理職を対象に、今年度は人権担当者を対象に実施しています。

本市の学校教育においては、自分を大切にすることと同様に、相手の立場に立って他の人も認めることができるような児童生徒の育成を推進しています。今後もLGBTへの無理解や偏見をなくすことに努め、教育委員会や各学校が連携して取り組んでまいります。

おおたかの森小中学校へエアコン設置を

流政会 石原 修治

問 **おおたかの森小中学校について、保護者などから夏の風の強い日に外壁に設置した折れ戸が風にあおられて閉められ暑かったことや、TXの走る音やほこりの問題についての報告はありますか。エアコン設置に向けて検討した場合、最短でいつ頃の設置が可能ですか。**

答 **学校教育部長** 折れ戸を開けるとTXが走る音やほこりが気になるとの報告はありませんが、折れ戸が風の影響により自動で開閉してしまうという報告がありましたので、折れ戸を途中で止められるよう、あおり防止策としてストッパーを設置しました。設計上の風の通り抜ける効果の確認および室内温度については、本年も継続して教室の温度測定を実施します。教育委員会としても今年の夏は定点観測時に学校に行って実体験したいと考えています。

エアコンの設置期間については、設置工事の前年度に設計を完了させ、当該年度に実施となりますので、約2年間かかると考えています。

老朽校舎の詳細な調査を急げ

日本共産党 小田桐 仙

問 **小中学校の校舎老朽化対策について、①詳細診断はいつから実施し、事業費はいくらか。②江戸川台小学校の老朽校舎について、懸案事項を先延ばしにしてきた結果、深刻な事態を迎えている認識は。③事業着手へ市長の政治判断は。**

答 **学校教育部長** 市内学校施設の個別施設計画での詳細診断の優先順位に基づき、できるだけ早期に実施できるように検討します。

診断できる棟数および診断内容を含めて専門機関へ事業費の積算の依頼をしています。そこで、以下を中心に、予算の充実を求めます。①震災からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分図ること。②教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること。③義務教育教科書無償制度を堅持すること。④就学援助や奨学金事業の予算をさらに拡充すること。⑤総合型地域クラブの育成など、環境・条件を整備すること。⑥公立学校施設整備費を充実すること。⑦基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること、など。

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について◆

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものです。よって、国に義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求めます。

◆すべてのひとり親世帯に光をあてる支援を求める意見書について◆

児童扶養手当は、ひとり親世帯の命綱といえます。国会では、第2子以降の加算額を増額する改正児童扶養手当法が可決、成立し、さらに参議院厚生労働委員会での附帯決議では、児童扶養手当の隔月支給や給付型奨学金の創設、授業料減免措置の充実などが盛り込まれました。そこで政府に附帯決議を早期に具現化するよう強く求めます。

◆介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続を求める意見書について◆

平成27年6月、「経済財政運営と改革の基本方針2015」が閣議決定されました。方針には、軽度者に対する生活援助サービス・福祉用具貸与などやその他の給付の見直しなどが盛り込まれています。しかし、現行の介護保険制度による福祉用具のサービスは適正に利用されています。よって、軽度者向けの福祉用具貸与及び住宅改修については、介護保険の保険給付の対象として継続することを強く要望します。

◆性暴力被害者への支援強化を求める意見書について◆

警察庁の報告によると強姦と強制わいせつの認知件数は、2015年には8600件余りにもなります。以下を政府に求めます。①性被害者の支援などを定める法律を整備し、予算措置を図ること。②被害者支援計画を策定し、継続的な支援につなげること。③ワンストップ支援センターをさらに増設すること。④被害者支援のための連絡会議などを設置すること。

◆国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書について◆

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っています。そこで、以下を中心に、予算の充実を求めます。①震災からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分図ること。②教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること。③義務教育教科書無償制度を堅持すること。④就学援助や奨学金事業の予算をさらに拡充すること。⑤総合型地域クラブの育成など、環境・条件を整備すること。⑥公立学校施設整備費を充実すること。⑦基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること、など。

議員提出の可決議案

◆介護職員の賃金引上げが確実に実施されることを求める意見書について◆

厚生労働省の賃金構造基本統計調査では、介護職の平均賃金は、全産業平均より約9万円低い月約21万円です。そこで政府に賃金引上げが確実に実施されるよう強く求めます。

◆長時間労働等の是正に向けた関係法令の制定を求める意見書について◆

日本では、労働基準法で残業時間の上限を定めておらず、多くの職場で長時間労働が広がっています。政府に以下を強く求めます。①残業時間の上限を法律で規制すること。②裁量労働制導入では、省令で定める時間を超えない仕組みとすること。③労働時間管理簿を作り、記入する義務を使用者に課す制度を創設すること。④関係法令等の違反者の公表などで、自粛と抑制を促すこと。

用語解説 ＬＧＢＴ…性的少数者であるLesbian（レズビアン）、Gay（ゲイ）、Bisexual（バイセクシャル）、Transgender（トランスジェンダー）の頭文字をつなげた略称

委員会の審査状況

総務委員会
議案６件を審査

◆「流山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定」の主な意見◆

①そもそも全住民を対象にした制度を標榜しながら、いまだにマイナンバーカードの発行を申請した者にすらカード交付が実現されていません。原因は、総務省が万全・完璧だと請け負ってきたＩＴシステムの不具合が主な原因です。また、個人の医療・病歴情報・銀行口座の情報などにまで、リンクが拡大していくことについて、多くの専門家が情報漏えいの危険性を指摘しています。矛盾と問題点が次々と浮き彫りになる中、利用範囲を拡大するのは間違いです。マイナンバー制度は中止・凍結し、廃止すべきとの意見を国にあげていくことこそ求められています。

②流山市軽度・中等度難聴児補聴器等購入費助成事業実施規則の補助対象者拡大に伴い、条例を変更すると理解しています。補助対象者を拡大することは、難聴児を抱える親の会の要望などでも求められているもので、望ましいことであり、内容は妥当なものと考えます。

③制度の内容としては、次の３点と理解します。１つ目、市民の要望に応えた内容であること。２つ目、マイナンバーを知らなくても手続そのものはできること。３つ目、助成対応の範囲が明確であること。

◆「流山市名誉市民条例の制定」の主な意見◆

①日本の名誉市民制度は、外国の制度を模倣したものといわれています。英語の名誉、アナレリーは、特権などを伴わないことを重要な意味としています。ところが、条例案では、各種式典への招待、相当な礼をもってする弔慰で遇するとあります。答弁では、名前を冠した大会を開催するなども例に挙げられ、これは、紛れもない特権であります。この条例では、市長・副市長や市の幹部職員の経験者や元議員など政治家を除外することが明記されていません。多くの自治体で、称号を付与する対象者をめぐって議論が起きています。特に、政治家などが候補に挙げられたときには政争の種にさえなっています。宇宙に行った人、オリンピックで賞を取った人など、誰もが異論を挟まないような、社会的な評価の確定した人を選ぶというのなら、そもそも新たな表彰制度そのものが必要なくなります。市民の対等平等性に反する名誉市民条例案、御上からの下々への名誉付与という旧態依然への郷愁を示す名誉市民条例案には賛成できません。

②条件として機運の高まりや、文化国際性と公平公正な観点があること。また、市長提案で議会の議決を得るということで二元代表制があること。自治体の知名度を上げるという効果も期待できるということ。

教育福祉委員会
陳情６件を審査

◆「甲状腺検査実施に関する陳情書」の主な意見◆

①松戸市、柏市、我孫子市に続いて、鎌ケ谷市でも実施する方向です。

そして、野田市の新市長も甲状腺健診の実施を公約で掲げており、実施する方向でこれから取り組まれることで、本市だけ取り残されました。

いつまでも、国がやるべきと繰り返している場合ではなく、「母になるなら、流山市。」として、子育て世代の方々をたくさん誘致したのですから、スローガンが欺瞞（ぎまん）だと言われないよう、甲状腺検査費用の補助を実施すべきです。

また、市民の願いに寄り添って、後押しするのが議会の役割であり、議会が反対しているからと、言い訳になる材料を執行部に与えることは、議会がすることではありません。

②小児甲状腺がんの診断は非常に難しいと言われていますが、福島県では医師複数人体制で慎重な診断を長期にわたって実施する体制を整えていると聞いています。

近隣各市では、松戸市、柏市、我孫子市が実施していますが、３市とも検査の目的は放射線による健康への不安解消と仄聞しており、相談業務は行っていません。

本市では、不安解消策として、中学生以下の子を持つ保護者および妊婦を対象とした健康相談やミニ講座を実施し、実質的な不安解消に役立っていると考えます。

甲状腺エコー検査費用の助成については、市独自での調査や検査を行えるような条件下にないと考えますと、助成の必要はないと考えます。

◆「公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことを求める意見書の提出を求める陳情書」の主な意見◆

①国は、２００４年に公立保育所の運営費を一般財源化し、２００６年には、公立保育所の施設整備費を一般財源化しました。

保育行政において、国が負うべき財政負担の責任を地方に転嫁してきた結果、多くの自治体で公立保育所に係る予算が削減されています。

公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことは、待機児童の解消や、保育の質の充実にも繋がります。

②本市において陳情が指摘している問題は発生しておらず、地方自治法第99条に定める当該普通地方公共団体の公益に関する事件に該当しません。

また、直接補助制度に戻すことは、地方分権の流れの中で、地方自治体の裁量権の拡大を制限するものであると考えられます。

市民経済委員会
議案１件を審査

◆「流山市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について」の主な意見◆

①本案は、災害時の情報収集は防災会議ではなく、災害対策本部において事務を行うことが効果的であること、また、防災会議には、防災に関する諮問機関としての機能を強化する観点から、所掌事務に追加するものであり、上位法の改正に基づき、改正されるものです。

市民の安心安全のため、防災に関する事項に注意深く対応し、上位法の改正があった場合、速やかに改正できるよう努力することを要望し、賛成します。

都市建設委員会
議案５件を審査

◆「松戸市ほか９市消防指令事務協議会規約の制定に関する協議について」の主な意見◆

①通信機器の性能の向上や各市の負担などの関係で、消防指令センターを共同運営するということは多少理解しますが、市民の願いは通報していち早く現場に到着してほしい、通報したが細かい住所がなかなか通じないということがないようにしてほしいというものと考えます。

今回の共同運用により、共同指令の対象の人口は約２４０万人の規模に、面積も約５２４平方キロメートルと大きく広がり、さらなる広域化は消防それぞれの機能を弱体化しかねないという懸念があり、反対します。

②消防救急業務は昨今、より高度で複雑な災害対応や救急対応が求められているとともに、大規模災害などにおいては近隣市町村に対し、迅速かつ集中的な広域応援を要請しなければなりません。

消防救急無線の広域化・共同化による指令業務および管制業務の共同運用は、消防力の効率的運用や費用の節減効果など、住民サービス向上や行財政上多くの有効性が認められることから、共同して消防指令事務を管理、執行するため、関係地方公共団体と協議することは適正と考え、賛成します。

議長の主な公務

5月31日　全国市議会議長会定期総会（千代田区）

6月12日　第27回全国みどりの愛護のつどい（柏市）

都市建設委員会における現場視察の様子

ようこそ流山市議会へ

5月16日から8月15日までの間に、議会改革等について行政視察にお越しいただいた皆さまです。

・北海道江別市議会
・宮城県栗原市議会
・岩手県奥州市議会
・滋賀県大津市議会
・岩手県北上市議会
・大阪府八尾市議会
・香川県坂出市議会
・千葉県袖ケ浦市議会

平成28年流山市議会第２回定例会　議員別表決結果一覧

議案名等			議決日	審議結果	野田 宏規	近藤 美保	戸辺 滋	西尾 段	大塚 洋一	野村 誠	坂巻 儀一	石原 修治	菅野 浩考	植田 和子	笠原 久恵	森田 洋一	加藤 啓子	斉藤 真理	阿部 治正	中村 彰男	楠山 栄子	西川 誠之	森 亮二	徳増記代子	藤井 俊行	中川 弘	根本 守	小田桐 仙	青野 直	乾 紳一郎	秋間 髙義	海老原功一
議案	第42号	平成28年度流山市一般会計補正予算（第１号）	6/22	全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第43号	流山市名誉市民条例の制定について		多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第44号	流山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について		多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第45号	専決処分の承認を求めることについて（流山市税条例等の一部を改正する条例）		多数承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	
	第46号	専決処分の承認を求めることについて（流山市都市計画税条例の一部を改正する条例）		全会承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第47号	工事請負契約の締結について（流山市立小山小学校校舎増築工事（建築工事））		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第48号	流山市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第49号	流山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第50号	流山市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第51号	市道路線の認定について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第52号	市道路線の廃止について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第53号	松戸市ほか９市消防指令事務協議会規約の制定に関する協議について		多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	
	第54号	人権擁護委員の推薦について		全会同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	
	第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		全会同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	
	第56号	固定資産評価員の選任について		全会同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	
陳情	第5号	公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことを求める意見書の提出を求める陳情書	6/22	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	
	第6号	保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善することを求める意見書の提出を求める陳情書		継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第7号	子育て費用の家計負担軽減化をはかるために保育料の低減化を求める意見書の提出を求める陳情書		不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	
	第8号	「国における平成29（2017）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第9号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第10号	甲状腺検査実施に関する陳情書		不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	-	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	
発議	第7号	介護職員の賃金引上げが確実に実施されることを求める意見書について	6/22	全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第8号	長時間労働等の是正に向けた関係法令の制定を求める意見書について		多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	第9号	すべてのひとり親世帯に光をあてる支援を求める意見書について		多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	第10号	介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続を求める意見書について		多数可決	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○	
	第11号	九州電力川内原発の即時運転停止、伊方原発の再稼働延期を求める意見書について		少数否決	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	
	第12号	性暴力被害者への支援強化を求める意見書について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第13号	被災者の生活再建を支援する制度改正を求める意見書について		少数否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	
	第14号	国における平成29年度教育予算拡充に関する意見書について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第15号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について		全会可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄になっています。　※表の見方　○：賛成　×：反対　欠：欠席　－：棄権　※審議結果の表記解説：全会・・議員（出席議員）全員
※可決した意見書は、関係省庁に提出しました。

流山市議会では、市民の皆さまに、より「読みやすい」と感じていただける『市議会だより』を目指しています。その一環として、８面「議員別表決結果」について協議し、新デザイン案がまとまりました。

新デザインに変更するにあたり、市民の皆さまのご意見を募集します。ご意見の受付方法など詳細は、市議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局にお問い合わせください。流山市議会ホームページアドレス http://www.nagareyamagikai.jp/

次回定例会のお知らせ

平成28年第３回定例会は、次の会期日程（案）のとおり開催される予定です。

平成28年第３回定例会会期日程（案）

9月1日（木）	本会議	午後1時開議
6日（火）	本会議（一般質問）	午前10時開議
7日（水）	〃	〃
8日（木）	〃	〃
9日（金）	〃	〃
12日（月）	総務常任委員会	
13日（火）	教育福祉常任委員会	
14日（水）	市民経済常任委員会	
15日（木）	都市建設常任委員会	
20日（火）	決算審査特別委員会	
21日（水）	〃	
23日（金）	〃	
27日（火）	〃	
10月4日（火）	本会議	午後1時開議

議会の窓

2020年東京オリンピック・パラリンピックで、参加国の選手などと地域住民などとの交流を促進する取り組み「ホストタウン」として流山市が選ばれました。全国の自治体と大会に参加する国がイベントや事前合宿などで交流を図ることで、地域の活性化や観光振興を目指すものです。世界でも有名な卓球台のメーカーがある流山市は、明治時代から交流があるオランダのホストタウンとして選定されました。

今、流山市は街づくりの転換期に入っています。チャンスと捉え市議会としても、異論反論にも耳を傾け知恵を集めて、市民の意見を最大限に取り入れた住民主体の街づくりに徹していきたいものです。　菅野　浩考

あとがき

議会広報広聴特別委員会では、より読みやすい市議会だより作りに取り組んでいます。皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

郵送先　〒270-0192　流山市平和台1-1-1
TEL　7150-6099　FAX　7150-2863
e-mail：gikai@city.nagareyama.chiba.jp

議会広報広聴特別委員会

委員長　笠原　久恵
副委員長　阿部　治正
委員　近藤　美保
委員　西尾　段
委員　野村　誠
委員　菅野　浩考
委員　加藤　啓子
委員　藤井　俊行
委員　中川　弘
委員　小田桐　仙

R70　古紙70%再生紙、植物油インク使用

このページは第三者（NPO法人　カラーユニバーサルデザイン機構）に検証していただき、カラーユニバーサルデザインに配慮しています。